

# 価値創造プロセス Vision

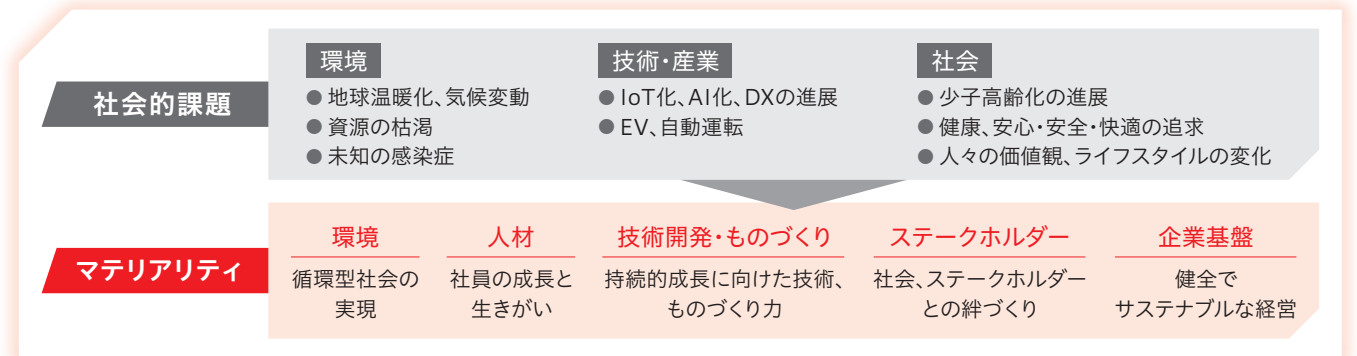
“ものづくりの心を大切に社会に貢献したい”という思いのもと、世界に通用する技術を追求し、発展してきました。

お客さまのものづくりに常に寄り添い、新しい価値をお届けするために。

私たちに関わる全ての皆さまとの絆を深め、いつの時代も選ばれ続ける企業であることを目指していきます。



※2024年度実績

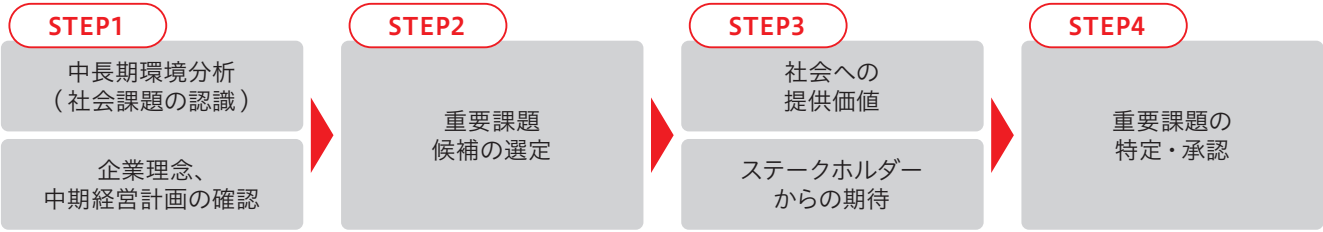


# マテリアリティ

Materiality

重要課題（マテリアリティ）の特定にあたっては、今後の環境変化に伴う社会的課題、新東工業グループの企業理念、培ってきた強み、中期経営計画の取り組み内容、さらには実現したい社会などを勘案の上、重要課題の候補を選定いたしました。その後、新東工業グループとして社会にどのような価値を提供できるか、ステークホルダーから期待される内容などにつき社内で議論を進め、最終的に5つの大項目に絞り込みを行い、社外取締役の意見を加味しながら、取締役会において決定しています。これらのマテリアリティに沿って、社会課題の解決に向けて取り組みを進め、地域社会の発展に貢献していきたいと考えています。なお、特定したマテリアリティは不変のものではなく、今後の環境の変化や事業活動の動向により、必要に応じて変更すべきものと考えており、今後も定期的に見直しを行っていく予定です。

| マテリアリティ                                                                                 | 中長期的な課題              | 2024 年度の取り組み（目標 / KPI）                                                                                      | 2024 年度の実績                                                                                                           |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <div>環境</div> <div>循環型社会の実現</div> <div>関連する SDGs</div> <div></div>                      | 温室効果ガスの削減            | ● CO <sub>2</sub> 排出量削減目標：前年比 3% 削減                                                                         | ● CO <sub>2</sub> 排出量削減実績：前年比 6.7% 削減                                                                                |
|                                                                                         |                      | ● 電力の見える化を推進<br>● エコプロダクツ商品の CO <sub>2</sub> 削減効果の策定、国内外グループ会社への展開                                          | ● 幸田事業所にて 4 階層までの電力の見える化を 2025 年 2 月に完了<br>● エコプロダクツ新商品に対する削減効果を計算式にして展開                                             |
|                                                                                         | 資源循環の推進              | ● Scope3 の算定方法の決定と目標値設定                                                                                     | ● カテゴリー 4、6、7、11、12 について算定方法を決定                                                                                      |
|                                                                                         | 有害物質への対応             | ● 有害廃棄物ばいじんの集塵機による回収                                                                                        | ● 啓蒙活動を実施                                                                                                            |
|                                                                                         | エコ意識の醸成              | ● SDGs18 番目「自分ごと」宣言実施                                                                                       | ● 国内外グループ社員約 4,000 名：「自分ごと」宣言、職場に掲示                                                                                  |
| <div>人材</div> <div>社員の成長と生きがいを尊重した経営</div> <div>関連する SDGs</div> <div></div>             | One Global Sinto の推進 | ● 人材開発体系に基づく社員教育 [成長度アンケート：75% 以上]                                                                          | ● 成長度アンケート：71.0%                                                                                                     |
|                                                                                         | ダイバーシティの推進           | ● 障がい者法定雇用率の遵守：2.5% 以上（2024 年 6 月末時点）                                                                       | ● 障がい者雇用率：2.6%（2024 年 6 月末時点）                                                                                        |
|                                                                                         |                      | ● 女性管理職比率：5.0% 以上（2025 年 4 月時点）                                                                             | ● 女性管理職比率：4.2%（2025 年 4 月時点）                                                                                         |
|                                                                                         | 健康増進への取り組み           | ● 男性育児休業取得率の向上：80% 以上                                                                                       | ● 男性育児休業取得率：40.0%                                                                                                    |
| <div>技術開発・ものづくり</div> <div>持続的成長に向けた技術、ものづくり力の強化</div> <div>関連する SDGs</div> <div></div> | 技術融合による新事業開発         | ● 健康経営の推進<br>① 適正体重維持者率：65.0%、② 睡眠充足率：57.0%<br>③ 運動習慣者比率：23.0%、④ 食習慣指標：25.0%                                | ● 健康経営の推進<br>① 適正体重維持者率：62.0%、② 睡眠充足率：50.1%<br>③ 運動習慣者比率：22.1%、④ 食習慣指標：29.6%                                         |
|                                                                                         | 知的財産への戦略強化           | ● 新規および既存事業の特許分析と今後の対応方針を策定<br>● 商品別・技術テーマ別特許保有資産の分析、競争力や方向性を事業部門と共有、知財力を強化                                 | ● 技術の融合によるシナジー全体効果 622 百万円<br>● 小型のセラミック 3D プリンタ「M.A.T.」を導入、受託事業を拡大<br>● センサメーカーと連携し C-BOX® によるソリューションを提供            |
|                                                                                         | 安心・安全な製品づくり          | ● 「職場を良くする委員会」での意見をもとに職場環境を整備                                                                               | ● セーフティサブアセッサ取得実績 11 名                                                                                               |
| <div>ステークホルダー</div> <div>社会、ステークホルダーとの絆づくり</div> <div>関連する SDGs</div> <div></div>       | お客さまとの絆づくり           | ● エlastikos 社との技術融合による表面処理事業の拡大（シナジー全体効果 11.5 百万円）<br>● セラミック 3D プリンタによる受託生産拡大<br>● センサメーカーとの連携による DX 事業の強化 | ● スキルポイント：2.0 ポイントアップ／営業担当者一人当たり                                                                                     |
|                                                                                         |                      | ● 新規および既存事業の特許分析と今後の対応方針を策定<br>● 商品別・技術テーマ別特許保有資産の分析、競争力や方向性を事業部門と共有、知財力を強化                                 | ● スキルポイント：2.6 ポイントダウン／営業担当者一人当たり                                                                                     |
|                                                                                         |                      | ● セーフティアセッサによる安全機能の確認強化（取得目標 14 名）                                                                          | ● IoT サービス契約お客さま数 82 社（22% アップ）…67 社⇒82 社（+15 社）                                                                     |
|                                                                                         | 取引先との絆づくり            | ● IoT サービス契約お客さま数 100 社（49.3% アップ）                                                                          | ● サポートセンター新設に向けた協議を継続中のため未着工                                                                                         |
|                                                                                         | 株主・投資家とのコミュニケーション    | ● サポートセンターリニューアルに向けた工事着工                                                                                    | ● 新睦会総会、情報交換会にて使用電力、木くず削減を呼びかけ（5、10 月）                                                                               |
| <div>企業基盤</div> <div>健全でサステナブルな経営</div> <div>関連する SDGs</div> <div></div>                | 株主・投資家とのコミュニケーション    | ● 新睦会会員から電力使用量データを毎月収集<br>● 木くず削減への協力依頼                                                                     | ● 決算説明会の実施、機関投資家との個別面談実施（22 社）<br>● IR フェアへの参加（日経 IR、名証 IR）<br>● 工場見学会の実施                                            |
|                                                                                         |                      | ● 機関投資家向けのエンゲージメントの実施<br>● 個人株主向けの施設見学会の実施                                                                  | ● 創立 90 周年イベントの開催（バスポーツ体験、災害体験）<br>● 铸物キャンパスの開催                                                                      |
|                                                                                         | 地域社会への貢献             | ● サステナブルな観点での地域貢献                                                                                           |                                                                                                                      |
| <div>企業基盤</div> <div>健全でサステナブルな経営</div> <div>関連する SDGs</div> <div></div>                | コーポレート・ガバナンス         | ● コーポレート・ガバナンスの強化<br>・指名・報酬委員会における社外役員比率：100%<br>・取締役会における社外取締役比率：1/3 超<br>・監査役会における社外監査役比率：1/2 超           | ● コーポレート・ガバナンスの強化<br>・指名・報酬委員会における社外役員比率：100%<br>・取締役会における社外取締役比率：36.4%（4 名/11 名）<br>・監査役会における社外監査役比率：75.0%（3 名/4 名） |
|                                                                                         | コンプライアンス             | ● 不正防止の取り組み強化（重大なコンプライアンス違反発生：0 件）                                                                          | ● 重大なコンプライアンス違反発生：0 件                                                                                                |
|                                                                                         | リスクマネジメント            | ● 重点取り組みリスクの選定と対処の強化（重点リスクのリスク低減：3 件以上）                                                                     | ● 重点リスクのリスク低減：3 件                                                                                                    |



○：実施して成果を得られたもの △：実施したが、まだ進捗中のもの ×：実施しなかったもの、成果が得られなかったもの  
対象範囲 ●：新東工業および国内・海外グループ会社 ●：新東工業および海外グループ会社 ●：新東工業

| 自己評価   | 2025 年度の取り組み（目標 / KPI）                                                                                                                                                    | 関連ページ            |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| ○      | ● CO <sub>2</sub> 排出量削減目標：2021 年度基準 基準年の 3.45% を毎年削減                                                                                                                      | P42-46           |
| ○<br>△ | ● 各事業所にて第 1 階層の電力使用量をリアルタイムで見えるように改良<br>契約電力 3% 引下げ（2022 年度比）、2025 年 9 月末までに 8 事業所にて見える化実施<br>● エコプロダクツ新商品の電動機電力削減の展開と集計<br>目標：電力使用量 1.5% 削減 ※集計は下期より開始                   |                  |
| △      | ● カテゴリー 4：CO <sub>2</sub> 排出量 1% 削減（エコロジスティクス）<br>カテゴリー 11：客先貢献度 CO <sub>2</sub> 排出量 1.5% 削減（エコプロダクツ）<br>カテゴリー 12：客先貢献度 CO <sub>2</sub> 排出量 0.6t-CO <sub>2</sub> /ton（3R） |                  |
| ×      | ● 廃棄物削減目標：前年比 5% 削減                                                                                                                                                       |                  |
| △      | ● 有害廃棄物ばいじん（鉛含有）の集塵機による回収<br>有害ばいじん発生設備用集塵機「故障停止ゼロ」（一宮・大崎事業所）                                                                                                             |                  |
| ○      | ● SDGs18 番目「自分ごと」宣言率 100%                                                                                                                                                 | P47-52           |
| △      | ● 人材開発体系に基づく社員教育 [成長度アンケート：75% 以上]                                                                                                                                        |                  |
| ○      | ● 障がい者法定雇用率の遵守：2.5% 以上（2025 年 6 月時点）                                                                                                                                      |                  |
| △      | ● 女性管理職比率：5.0% 以上（2026 年 4 月時点）                                                                                                                                           |                  |
| △      | ● 男性育児休業取得率の向上：80% 以上                                                                                                                                                     |                  |
| △      | ● 健康経営の推進<br>① 適正体重維持者率：65.0%、② 睡眠充足率：57.0%<br>③ 運動習慣者比率：25.0%、④ 食習慣指標：25.0%                                                                                              | P36、59           |
| ○      | ● トラック、リフトの動線にあたる通路の舗装面を改修（100% 完了）                                                                                                                                       |                  |
| ○      | ● シナジー全体目標 150 百万円<br>● セラミック分野から新材料の創出（目標：新材料 3 種類）<br>● センサメーカーとの協業、ソリューション増強（目標：センサメーカー 5 社増）                                                                          |                  |
| ○      | ● 特許分析：12 テーマ<br>● 知的財産権の出願：30 テーマ<br>● 特許監視：新規事業領域 5 テーマに対する監視体制の検証                                                                                                      |                  |
| ○      | ● セーフティアセッサによる安全機能の確認強化（取得目標 17 名）                                                                                                                                        |                  |
| ×      | ● スキルポイント：2.0 ポイントアップ／営業担当者一人あたり                                                                                                                                          | P56-58           |
| △      | ● 新たなサービスも含め、IoT サービス契約お客さま数 125 社（1.5 倍）                                                                                                                                 |                  |
| ×      | ● サポートセンターの新設のスケジュール策定→完成までのマイルストーン作成（9 月まで）<br>● iAssist® の発展、新たなサポートサービスの展開（3 件）                                                                                        |                  |
| ○      | ● 新睦会会員から電力使用量データを毎月収集…提供会社 44 社⇒68 社（+24 社）<br>● サプライヤーにおける環境に寄与する改善事例 6 件 / 年<br>新東工業の改善事例の紹介・配信（毎月）<br>● サプライヤーとのコミュニケーションの「場」づくり 4 回 / 年開催                            |                  |
| ○      | ● 機関投資家との個別面談実施（30 社）<br>● 個人株主向けの施設見学会の実施                                                                                                                                |                  |
| ○      | ● サステナブルな観点での地域貢献                                                                                                                                                         | P53-55、<br>60-69 |
| ○      | ● コーポレート・ガバナンスの強化<br>・指名・報酬委員会における社外役員比率：100%<br>・取締役会における社外取締役比率：1/3 超<br>・監査役会における社外監査役比率：1/2 超                                                                         |                  |
| ○      | ● 重大なコンプライアンス違反発生：0 件                                                                                                                                                     |                  |
| △      | ● 重点リスクのリスク低減：3 件以上（テーマ：BCP、情報セキュリティ、職場安全）                                                                                                                                |                  |

詳細についてはウェブサイトをご参照ください。



重要課題（マテリアリティ）の特定  
<https://www.sinto.co.jp/ir/management/materiality/>



## 2024 年度の取り組み事例

### 環境 温室効果ガスの削減

P.44

#### CO<sub>2</sub> 排出量削減目標の見直し、および Scope3 の定義設定

##### ■ CO<sub>2</sub> 排出量削減目標の見直し

2030 年度、さらには 2034 年度（創立 100 周年）までに、Scope1 および 2 における CO<sub>2</sub> 排出量を年率 3%削減する目標値を設定していましたが、国の目標と同じ 2050 年カーボンニュートラルにした場合、基準年である 2021 年度の排出量に対し、毎年 3.45%の削減が必要であると判明したため、新たな目標値を再設定しました。

2030 年目標：

Scope1、2 2021 年度比 CO<sub>2</sub> 排出量 31%削減

2034 年目標：

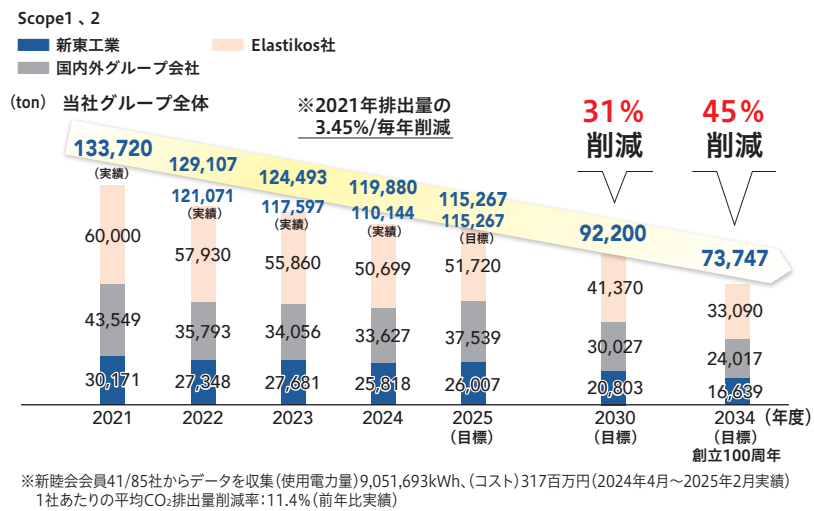
Scope1、2 2021 年度比 CO<sub>2</sub> 排出量 45%削減

##### ■ Scope3 の定義設定

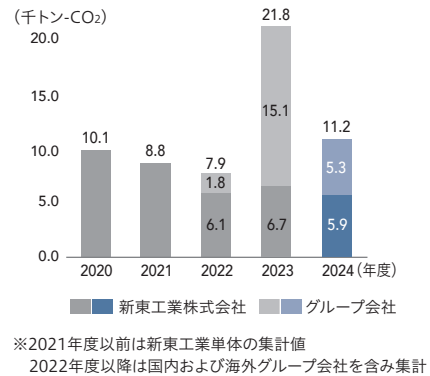
Scope3 対象の 15 カテゴリーのうち、下記の 5 つのカテゴリーについて算出定義を設定してデータを収集しています。

| カテゴリー                 | 算出の定義                                                                         |
|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| カテゴリー 4<br>輸送・配送      | 輸送貨物と輸送距離のデータ取りを実施。                                                           |
| カテゴリー 6<br>出張         | 「出張」に関して、「交通費支給額」「宿泊数」「出張日数」ごとの原単位を調査・設定。                                     |
| カテゴリー 7<br>雇用者の通勤     | 「通勤」に関して、「通勤費支給額」「勤務日数」ごとの原単位を調査・設定。                                          |
| カテゴリー 11<br>販売した製品の使用 | お客さまへ販売した設備ごとの運転中に排出する CO <sub>2</sub> 排出量を計算。運転状況は把握できないので、各設備ごとに運転条件を設定し対応。 |
| カテゴリー 12<br>販売した製品の廃棄 | WAT テープの使用により、お客さま先でのプラスチック廃棄量（CO <sub>2</sub> 排出量）を削減。                       |

##### 新東工業グループ CO<sub>2</sub>排出量削減計画 - 創立100周年 2034年度 -



##### (事例) カテゴリー11 販売した製品の使用 環境配慮商品によるCO<sub>2</sub>削減貢献量の推移



### 環境 資源循環の推進

P.43

#### 汚泥廃棄物排出量の削減

大崎事業所の投射材製造工程では、水資源の有効活用を目的に循環水専用の水路を設け、鉄分を含んだ汚泥を定期的に回収して産業廃棄物として処分しています。しかし、汚泥は水分を多く含んでおり、回収には手間がかかっていました。そこで、汚泥と水分を効率的に分離する方法を導入し、汚泥をフレコンバックに回収、余分な水分を除去することに成功しました。その結果、従来は年間 120 トン発生していた汚泥の廃棄物を 72 トンにまで削減し、廃棄物処分費を年間 70 万円削減することができました。また回収した年間 48 トンの水が再利用可能となり、補給水費も年間 2 万円を削減しました。今後もこの取り組みを継続し、汚泥の排出量を現状比で 40%削減することを目指していきます。



### 人材 One Global Sinto の推進

P.47

#### スポーツ活動への支援

社員一人ひとりの技能を尊重し、絶えずチャレンジし人生のポテンシャルを高められる企業風土の醸成に努めています。その一環としてスポーツ支援を通じた社員の成長を後押ししています。現在、水泳、スポーツクライミングで活躍するアスリート社員 3 名が在籍し、仕事と両立しながら技能の向上・強化に取り組んでいます。2024 年度は、競泳・安江選手と難波選手が、それぞれ日本選手権水泳競技大会で優勝し、世界選手権日本代表選手に内定・出場しました。



### 技術開発・ものづくり 知的財産への戦略強化

P.36

#### 知財ポートフォリオの強化

「素材に形をいのちを」の理念のもと、既存および新規事業領域の双方について知財ポートフォリオを強化しています。既存事業領域については、新たに開発した技術に加え、ポートフォリオの隙間を埋める知的財産権（特許、実用新案、意匠）の出願を積極的に行うことで競争力確保を図っています。また新規事業領域については、基本技術だけでなく、該当技術の活用方法などの周辺技術の特許出願を行うことで、知財面での優位性確保を目指しています。

### ステークホルダー

P.39

#### 人権への取り組み

当社グループは、「HEART:信頼される技術を通して人間としての豊かさと成果を」の経営理念のもとで、社員に対しては、「企業倫理行動指針」において具体的行動基準を示すとともに、サプライチェーン全体に対しては、「SINTO 取引先ガイドライン～子供たちの未来のために～」において取引先との信頼関係構築の根本としての調達基本方針を示すことにより、ステークホルダーの皆さまの人権尊重の取り組みを推進しています。現時点で重大な問題は確認されていませんが、今後も人権尊重に取り組むことにより、サステナブルな社会の実現と企業価値向上を目指していきます。

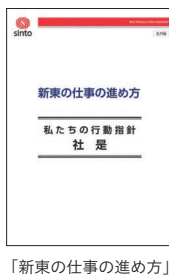
### 企業基盤 コーポレート・ガバナンス

P.54

#### 仕事を進める上での行動指針

私たちが仕事を進める上での行動指針は「社是」に表されています。社是の条文には、社員の取るべき行動・持つべき価値観がキーワードとして示されており、現在に至るまで、当社グループの競争力の源泉として受け継がれています。事業のグローバル化が進み、多様な考え方や価値観を持つ仲間とともに働く中、社是に込められた考え方や価値観はますます重要性を増してきています。このため、今回、あらためてキーワードの意味するところをわかりやすく解説し、具体的な行動に落とし込むための冊子「新東の仕事の進め方」を作成して、周知しました。

行動指針（社是）  
われわれは、つねに**堅実**にして**進取的**な態度で事にあたろう  
われわれは、つねに**相互の信頼**を深め**果敢実行**を旨としよう  
われわれは、つねに**至誠**をもって**社会に奉仕**しよう



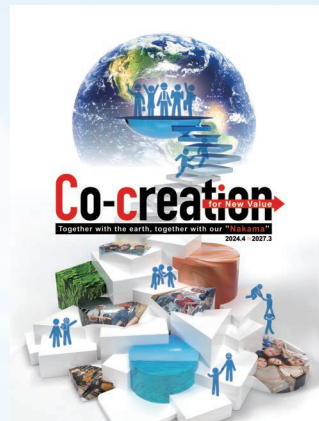
「新東の仕事の進め方」

# 中期経営計画

## 『「共創」～新しい価値を求めて～』地球とともに、仲間とともに

世界は、EV化による自動車業界の大変革、少子高齢化、情報技術の進展等、価値観の多様化と経済環境の変化により、大きな変革の時代を迎えています。このような状況の中、当社グループは、「ものづくりの心を大切に、社会に貢献したい」という想いのもと、グローバルに広がる課題を解決するために、世界中の仲間たちとともに、知恵を出し合い、技術を磨いて、新たな価値を創出することでこれから先の時代を切り拓いていくことを目指し、2024年4月から2027年3月までの3年間にわたる中期経営計画『「共創」～新しい価値を求めて～』地球とともに、仲間とともに、を策定しました。

本計画は、仲間とともに新しいものを創り出し、次世代に勝ち残っていくことを目指した計画です。全社一丸となり目標達成に向けて邁進しています。



### 中期経営計画の骨子

#### お客さまに選ばれ続ける

新規お客さま数  
+3,900社

#### ① 新しい時代に向けた成長

アフターサービスからお客さま目線の新しい提案を行う取り組み

部品カバー率  
5ポイントアップ

#### ② 競争力強化に向けたコスト削減と付加価値向上

お客さまニーズから付加価値を追求し、差別化アイテムで収益改善

売上総利益率  
3ポイントアップ

#### ③ ITやAIの活用による業務効率の向上

徹底した効率化とスキルアップで一人当たりの競争力アップ

一人当たり付加価値額  
10%アップ

売上高 EBITDA 比率 **8%以上**

### 背景と方針

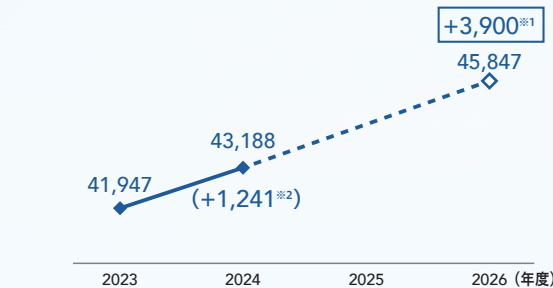
売上高 EBITDA 比率 8% 以上を目標とした背景には、企業の収益性と効率性を高める意図があります。この比率は、当社が売上高に対してどれだけの EBITDA を生み出しているかを示す重要な指標です。目標達成のシナリオとしては、まず営業利益の増加に向けたコスト削減と効率的な事業運営を徹底することが挙げられます。具体的には、業務プロセスの見直しや自動化の導入により、無駄を排除し、効率を向上させます。次に高付加価値の商品やサービスの提供を強化し、売上高の増加を図ります。市場のニーズを的確に捉え、差別化された商品を提供することで、競争力を高めます。またマーケティング戦略（売り方の多様化）とお客さま満足度向上を通じて、リピーターを増やし、安定した収益基盤を築くことが重要と考えています。お客さまと仲間となり未来の新しい事業を創り出すことで、持続可能な成長を実現します。さらに、財務管理の強化により利益率の向上を目指し、これらの施策を組み合わせることで、売上高 EBITDA 比率 8% 以上の達成を目指します。

### 中期経営計画 1 / 3 経過時点の振り返り

#### お客さまに選ばれ続ける

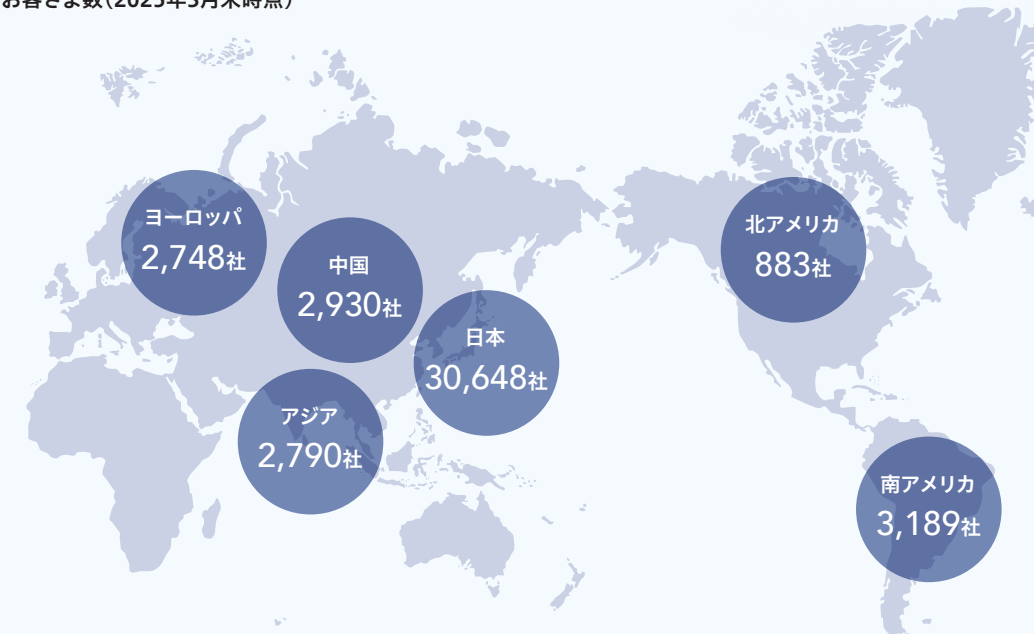
お客さま数は、時代や環境の変化があっても常に右肩上がりです。お客さまに選ばれ続けるために、「お客さまのために提案できる」「直ぐに対応する」「良き相談相手となる」の3要件を磨いています。これにより、1社1社のお客さまを大事にする結果が、企業価値向上につながると確信しています。具体的には、商品やサービスを通じて Win-Win の関係を築くことが重要です。双方にとって持続可能な成長を実現し企業価値を高めるべく、中期経営計画1年目は、新規お客さま数が1,241社増加しました。

新規お客さま数  
単位:社



※1 消耗品1,400社を含む  
※2 内訳:国内703社、海外538社

#### 地域別お客さま数(2025年3月末時点)



## ① 新しい時代に向けた成長

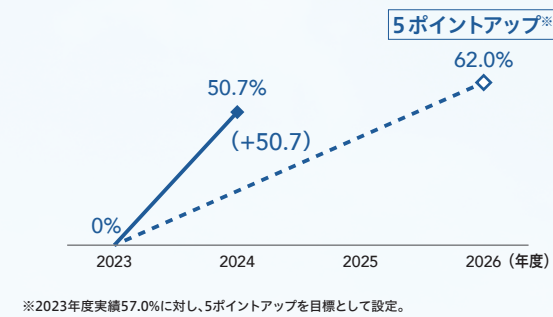
従来 新しいお客さまを増やすことに注力

今後 既存のお客さま一社一社にしっかりと寄り添い、一緒になって新しい価値を生み出す。

こだわり 時代の変化に対応して成長する既存のお客さまをしっかりと支え、深耕を図り、新分野を追求

当社は、一度お取引をいただいたお客さま、すなわち既存のお客さまとの関係性を何よりも大切にしています。その中で特に重視しているのが、「納入した設備は100%売り放しにしない」という姿勢です。つまり、1社1社のお客さまの困りごとに寄り添い解決することにより「ありがとう」の言葉をかけていただける存在になることを目指しています。アフターサービスの先には、当社に信頼を寄せていただけるお客さまとともに知恵を出し合い、新時代を切り拓く商品づくりを目指します。このような思いで活動した本中期経営計画のKGIに掲げる、アフターサービスの強化を示す部品カバー率は50.7%の結果となりました。

### 部品カバー率



## ② 競争力強化に向けたコスト削減と付加価値向上

お客さまニーズ

省人化に向けた自動化

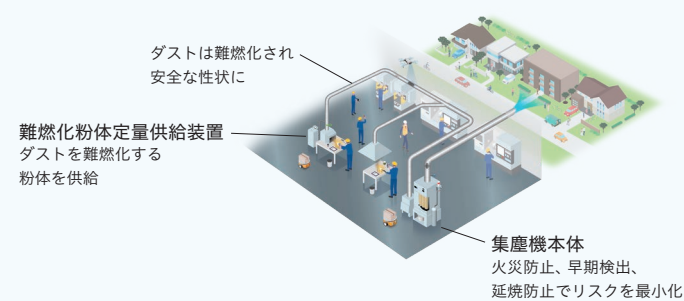
合理化に向けた情報技術活用

環境対策

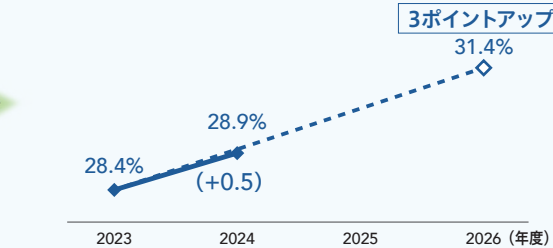
こだわり 付加価値（販売価格アップ）と原価低減（競争力アップ）でマージン幅（粗利）拡大

当社は、競争力の強化に向けて「コスト削減」と「付加価値アップ」にこだわります。モノ売りからコト売りへの視点で、設備を操作する人・メンテナンスをする人・監督をする人にとって作業が楽になり、かつ安全・安心の新商品やソフトアプリケーションを開発しています。その一例が、火災対策システム（下図）です。併せて、重量削減や運搬費削減、効率の良い施工法による地道な原価低減活動にも取り組んでいます。その結果、売上総利益率は昨年度比0.5ポイントアップしました。

### 火災対策システムのさらなる充実



### 売上総利益率(粗利率)



## ③ ITやAIの活用による業務効率の向上

### デジタル技術による効率化

デジタル技術を活用した業務改善や自動化など効率化の徹底

- ・3Dデータの活用によるリードタイム短縮
- ・RPAによる集計フリー
- ・AIによる分析
- など



### スキルアップ

一人ひとりが自分の技能を伸ばすことで、競争力を高める

こだわり 効率化とスキルアップによりムダ排除・正味率アップ ⇒ 収益性の向上

### 現場改善

「製造現場」においてはリードタイム短縮に向けて、工程の一部自動化や、図面の取り扱いの電子化を進めるなど、現場での工数の削減につなげました。具体的には、溶接自動システムを導入して、作業の効率化を図りました。また図面の電子化により、情報の共有化や検索が迅速に行えるようになり、ミスの削減にも寄与しています。



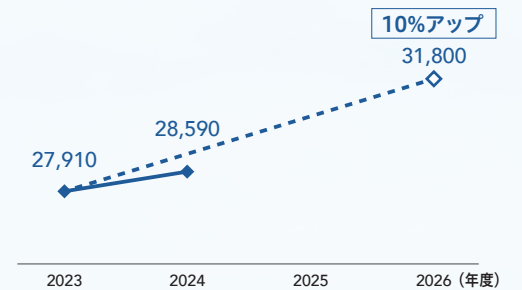
内製プログラムによる溶接の自動化



現場での図面取り扱いを電子化

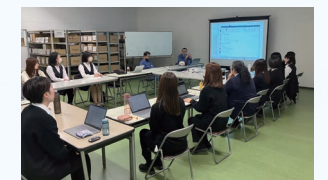
### 一人当たり付加価値額

単位:千円



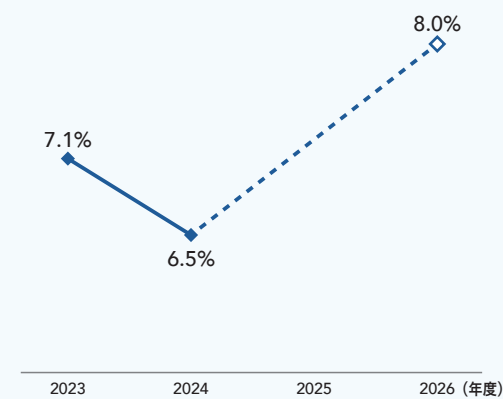
### 事務改善

ITやAIを活用した業務の効率化を推進しました。具体的には、女性社員の活躍も兼ねた「BIP（Business Improvement Project）推進室」を立ち上げて1年間活動した結果、297時間/月の業務時間の削減を実現。削減した時間は、担当者の新たなスキル習得の時間にあてるなど有効に活用しており、このような優良事例を横展開し、さらなる効果創出を目指します。



女性社員を中心とした事務改善

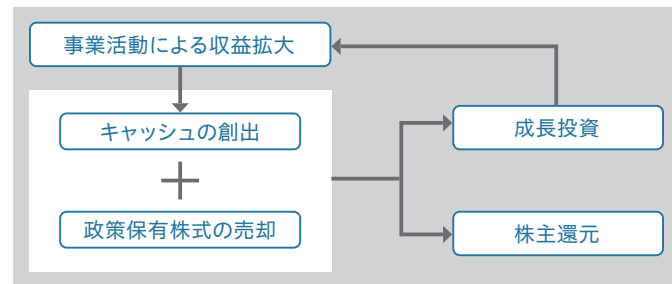
### 売上高 EBITDA 比率8%以上に向けて



当社の中期経営計画では、キャッシュを生み出す力の強化を目指しています。2024年度には「形づくり」「表面づくり」「素材づくり」、それらを支える「5つの技術」の枠組みを再定義し、今後成長が見込まれる分野を明確化しました。2025年度は、そこで生み出したキャッシュを原資として、成長分野への積極的な投資と挑戦を進め、キャッシュ創出の好循環を目指します。さらに、当社独自のサポートネットワークを活用し、一社一社のお客さまを大切にすることで、収益基盤の安定化を図ります。これらの取り組みにより、営業利益の確保、そしてROEの向上に取り組んでいきます。

基本方針

当社は、社会課題解決への取り組みによる企業価値向上を図るため、M&A、設備投資、研究開発投資および人的資本投資などの持続的成長に必要な戦略的投資を優先的に展開するとともに、株主の皆さまへの長期的・安定的な利益還元を継続していくことを財務戦略の基本方針としています。



資本コストを意識した資本の効率的活用による持続的成長

当社は企業価値向上へ向けた施策として、資本コスト低減と営業利益の拡大に注力していきます。事業活動から創出される営業キャッシュフローや資本効率向上のため、必要に応じて保有している投資有価証券を現金化して、減価償却費の範囲内で継続的な成長投資や開発費用に使用し、それを超える資金はさらなる成長投資、借入金返済および株主還元を使用していきます。

【キャッシュアロケーション】(2024～2026 年度)



政策保有株式に関する取り組み

政策保有株式は今後の成長に向けた投資として戦略的に活用しており、事業戦略や取引先との事業上の関係を総合的に考慮しています。これらの株式は、企業価値の向上と新事業創出のためのパートナー企業と協業で事業をする目的で、中期的な視点から保有しておりますが、資本効率の観点から保有株式の売却も選択肢として段階的に取り組んでいきます。また毎年1回、取締役会で上場政策保有株式全体を対象に、資本コストを考慮した保有株式の縮減リスクと保有に伴う便益（事業収益、配当、キャピタルゲインなど）を比較し、保有の妥当性を確認しています。

株主還元方針

当社の株主還元は従来から安定配当を基本に業績と連動し、連結当期純利益の上昇を基本方針としています。DOEの目標を従来の1.5%から2.0%に引き上げ、2.0%以上を下限とした配当を行い、株主資本比率を考慮した株主還元をしていきます。2025年度は通期で配当44円を予定しており、配当性向は77.2%を見込んでいます。利益の拡大を通じて株主還元を一層充実させることを念頭に置き、持続的成長投資と安定した利益還元のバランスを取ることで、PBR 1倍以上を目指していきます。

株主還元方針

当社の株主還元は従来から安定配当を基本に業績と連動し、連結当期純利益の上昇を基本方針としています。DOEの目標を従来の1.5%から2.0%に引き上げ、2.0%以上を下限とした配当を行い、株主資本比率を考慮した株主還元をしていきます。2025年度は通期で配当44円を予定しており、配当性向は77.2%を見込んでいます。利益の拡大を通じて株主還元を一層充実させることを念頭に置き、持続的成長投資と安定した利益還元のバランスを取ることで、PBR 1倍以上を目指していきます。

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針

株主還元方針